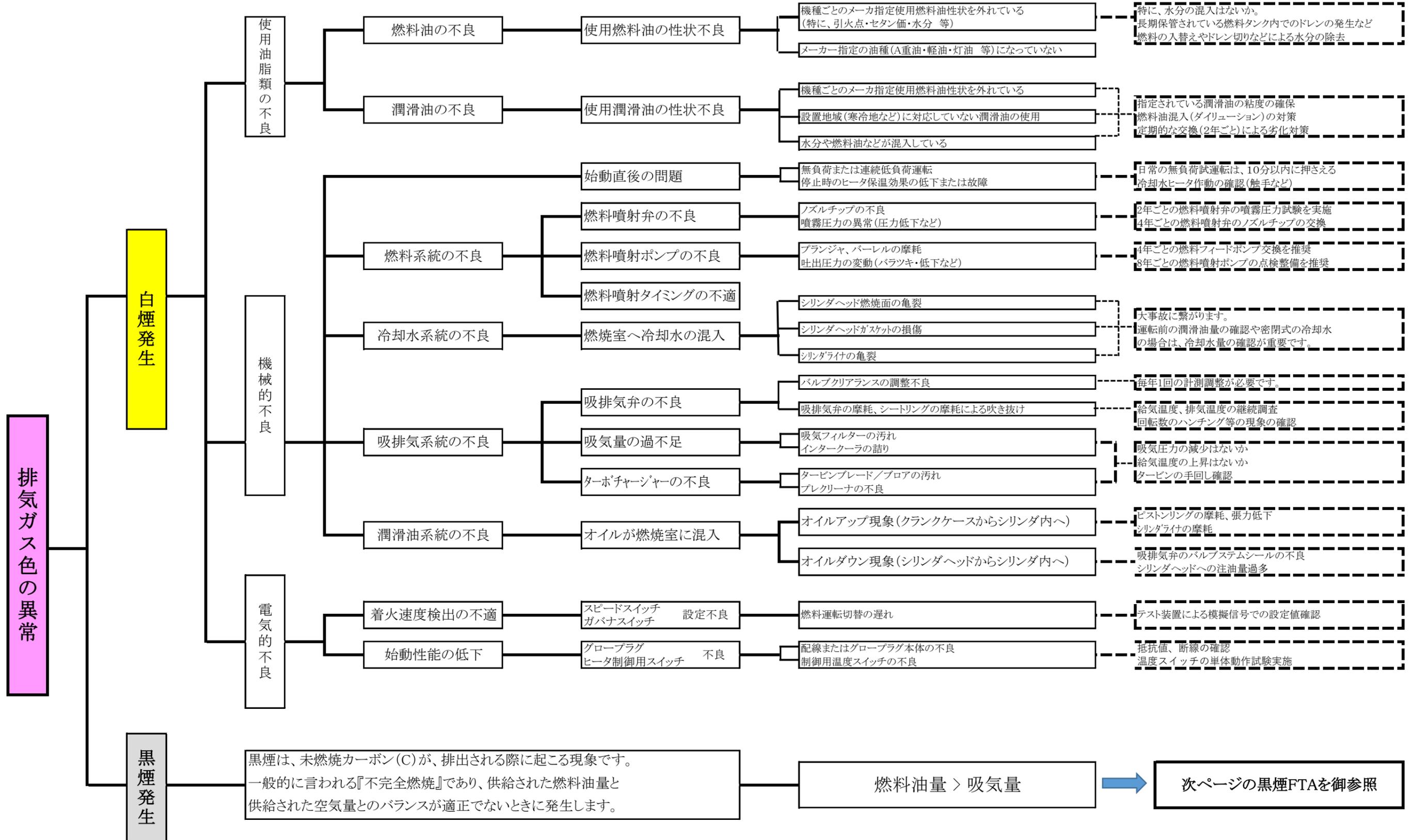


# ディーゼルエンジンの白煙発生 FTA

株式会社中田エンジン



特に、水分の混入はないか。  
長期保管されている燃料タンク内でのドレンの発生など  
燃料の入替えやドレン切りなどによる水分の除去

指定されている潤滑油の粘度の確保  
燃料油混入(ダイリュージョン)の対策  
定期的な交換(2年ごと)による劣化対策

日常の無負荷試運転は、10分以内に押さえる  
冷却水ヒータ作動の確認(触手など)

2年ごとの燃料噴射弁の噴霧圧力試験を実施  
4年ごとの燃料噴射弁のノズルチップの交換

4年ごとの燃料フィードポンプ交換を推奨  
8年ごとの燃料噴射ポンプの点検整備を推奨

大事故に繋がります。  
運転前の潤滑油量の確認や密閉式の冷却水  
の場合は、冷却水量の確認が重要です。

毎年1回の計測調整が必要です。

給気温度、排気温度の継続調査  
回転数のハンチング等の現象の確認

吸気圧力の減少はないか  
給気温度の上昇はないか  
タービンの手回し確認

ピストンリングの摩耗、張力低下  
シリンダライ付の摩耗

吸排気弁のバルブステムシールの不良  
シリンダヘッドへの注油量過多

テスト装置による模擬信号での設定値確認

抵抗値、断線の確認  
温度スイッチの単体動作試験実施